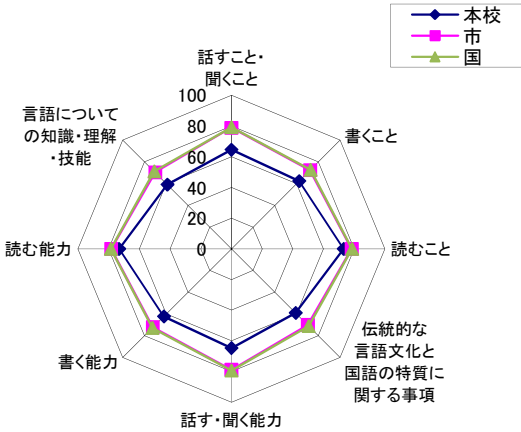


宇都宮市立清原東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

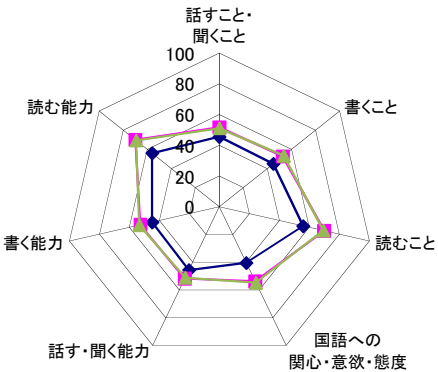
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	64.6	78.8	79.2
	書くこと	62.3	72.4	72.8
	読むこと	73.1	78.3	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.1	70.3	71.1
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	64.6	78.8	79.2
	書く能力	62.3	72.4	72.8
	読む能力	73.1	78.3	78.5
	言語についての知識・理解・技能	59.1	70.3	71.1



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	45.6	51.7	51.1
	書くこと	44.9	52.7	53.4
	読むこと	55.9	69.9	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	40.4	53.8	54.7
	話す・聞く能力	45.6	51.7	51.1
	書く能力	44.9	52.7	53.4
	読む能力	55.9	69.9	69.3
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○国語Bの質問の意図を捉える問題は、国の正答率をやや下回りが、県の正答率を上回っている。 ●国語Aでは、目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う問題で、国語Bでは、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する問題で、国の平均正答率を下回っている。	・話し合いでは、自分の立場や話し合いの観点を明確にしたうえで自分の意見を述べたり、自分の意見と比べながら集中して相手の意見を聞いたりすることを意識して行う機会を増やす。
書くこと	○国語Bではグラフを基に、分かったことを的確に書く問題や、活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える問題では、国の平均正答率を上回っている。 ●国語Aでは、書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する問題や、国語Bの自分の考えを書く問題では、国の平均正答率を下回っている。	・目的や意図に応じて、内容を整理しながら決められた文字数で書くなどの条件に合わせて書く活動に慣れるよう、機会を設ける。 ・自分の考えを表現することに課題が見られるので、様々な行事等の後で感想を書かせる機会を増やし、文章を書くことに慣れさせる。
読むこと	○国語Aにおける、目的に応じて、図と表を関係付けて読む問題では、国の平均を上回っている。 ●国語Aでは、登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える問題で、国の正答率を下回っている。 ●国語Bでは、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む問題で、国の平均正答率を大きく下回っている。	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることに課題が見られるので、物語や説明文を扱う学習では、話題の中心(主題)は何か、書き手はどのように考え、何を伝えたいかなどについて考えながら読むようにさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●学年別漢字配当表に示されている漢字の読み書きやローマ字の読み書きについて、国の平均正答率を下回っている。	・既習の漢字の読み書きについては、小テストや50問テストを活用し、反復練習をして定着を図る。 ・ローマ字の読み書きについては、学習したことが定着していないので、再度朝の学習等で復習し、小テスト等を繰り返し実施し、定着を図る。